

ネクサバール

ネクサバールが優先審査品目に

さつき(40)投稿日：2006年8月22日20時40分<火>愛知県/女性

ネクサバールが厚労省の優先審査品目に指定されたようです。

<http://www.bayer.co.jp/byl/news/pub/news2006-8-21.html>

ここからどのぐらいかかるんでしょうか。

いずれにせよ明るいニュースです。

ネクサバール

うらん(47)投稿日：2006年8月26日2時39分<土>

みかわさん、さつきさん、皆さん、初めまして。

父が闘病中の者です。

不勉強な医師の多い中、この掲示板は皆さん、いつも情報が早くてどれだけ熱心に情報収集なさっているかと思うと頭が下がります。

ネクサバールですが、さつきさんの仰る通り優先審査品目に挙げたようですね。

早ければ10月、遅くとも年内には認可が下りるのではないかと小耳にしました。少なくとも従来よりもずっと早く認可が下りるのは確実だと思います！

皆さん、希望をもって頑張りましょう！！

ネクサバールを処方されていらっしゃる方がおられれば、副作用についてご教示いただければ嬉しいです。

あと、インターフェロン α ですが、投薬なさっておられる方がいらっしゃいましたら「タガメット（シメチジン）」という錠剤も一緒に服用なさるといいと思います。胃薬なのですが、何故かインターフェロンと一緒に服用すると転移抑制効果が高いとの報告があります（皆さんご存知だし、実施なさっておられると思いますが念のために）。

インターフェロンについて

負けないで(64)投稿日：2006年9月01日9時53分<金>

今のところ、腎腫瘍肺転移の治療の第一選択肢はインターフェロン単独又はcox2阻害剤併用(タガメット等)です。これで一定期間治療してみて効果が無い場合、セカンドラインとしてインターロイキン2を使用するか、またはネクサバール、スーテントの国内未承認薬ということになるとおもいます。

AKIRAさんの場合、一度転移予防のためインターフェロンを使用しているため、転移腫瘍に効くかどうかは未知数です。

インターロイキンは健康保険が使えてもかなり高額ですし、奏効率もそんなに高くありません。国内未承認薬は個人輸入できますが、健康保険が使えないため高額になります。ただネクサバールは承認申請が完了しており厚労省の優先審査品目に指定されているため年内中に承認されるのではとの観測もあります。

こんにちは

千葉都民(66)投稿日：2006年9月01日19時12分<金>千葉県/男性

笑顔が一番さん、はじめまして。

ここに私への書き込みがあったのですね。埋もれていて危うく見逃す所でした。

ご質問ですが、知り合いの国立がんセンターの先生は私の主治医ではないのです。

また仕事柄、多忙ですので、気軽に質問することは難しいです。

セカンドオピニオン等で、直接出向いて診察後に色々な意見を伺うかたちになるとおもいます。そのような時には、予め声をかけて下さいと言われていています。

ネクサバルについては私なりに調べてみましたが承認申請が完了していますが、まだ承認前ですので現場レベルの数多い臨床データは無いと思います。

また、他国での現場レベルの数多い臨床データがあったとしても、人種の違いで、副作用・有効率の違いが出てくると聞いたことがあります。

(広い意味で、薬の副作用・有効率等は人種により変わる事もあるようです。)

お力にならずに申し訳ありません。

引き続き、ネクサバルについて調べてみます。

初めまして

負けないで(67)投稿日：2006年9月02日1時46分<土>男性52才

現在、ステントにより治療を行っています。

私のこれから書く情報は間違いが含まれている可能性があります。

ステントとネクサバルはほぼ同じ作用機序であり副作用もほぼ同じだと思います。もちろん厳密な違いがあると思います。

和文の有害情報や使用上の注意点は、患者薬剤情報シート

http://www.cancerit.jp/FDAfiles/p_drugsheet/nexavar.html

しか見たことがありません。これはボランティアの方がFDAのファイルを訳したものです。承認前であり、バイエルからは一般向けに公式情報まだ出てないと思います。

これから書くことはステントの治療パンフレットの抜粋です。

0) 予想される副作用

胎児奇形、心電図異常、下痢、悪心、口内炎、消化不良、嘔吐、皮膚や毛髪の変色脱色、皮膚が乾燥厚くなるひび割れ、水疱発疹、疲労、高血圧、出血、味覚異常

1) 日本の治療での主な副作用(発現率80~40%)

血小板減少、好中球減少、白血球減少、発疹、皮膚変色、悪心、リンパ球減少

2) 日本の治療での比較的重い副作用(発現率33~16%)

好中球減少、リンパ球減少、血小板減少、リパーゼ増加、白血球減少

3) 外国での治験での比較的重い副作用(発現率10~3%)

好中球減少、疲労、血小板減少、高血圧、下痢、白血球減少、手掌足底発赤知覚不全、リパーゼ増加、貧血

4) 外国での治験での重篤な副作用(発現率2.8%~1.0%)

出血、悪心、嘔吐、腹痛、脱水、疲労、血小板減少、貧血

私自身の体験では、疲労脱力感、発熱、高血圧、手足の発疹、腫れ、水疱、陰部肛門のただれや痒み等の皮膚障害と味覚異常です。私としては高血圧と皮膚障害および味覚異常が辛いところです。

グレープフルーツとハーブのセントジョーンズワートは禁止です。他にも併用禁止薬があります。

他剤併用については、バイエルからの公式ステートメントはインターフェロンとの併用は有望とされていますが、治験の実施や結果はまだ発表されていません。

バイエルからの公式ステートメント

<http://www.bayer.co.jp/byl/news/pub/news2006-4-5-1.html>

さつき(89)投稿日：2006年9月11日1時54分<月>愛知県/女性

ネクサバルを利用しているわけではないのですが、将来、父の治療に必要なかもしれないと思い、スーテントとともに情報収集に努めております。

米国FDAのネクサバルの患者薬剤情報シートの和訳は以下の通りです。

http://www.cancerit.jp/FDAfiles/p_drugsheet/nexavar.html

以下は英語になりますが、米国ネクサバルのサイトです。

<http://www.nexavar.com/wt/page/index>

このサイトから、ネクサバルに添付されている情報シートのPDFファイル入手できます(英語)。このPDFファイルの最後のページが上述の患者薬剤情報シートになります。

<http://www.univgraph.com/bayer/inserts/nexavar.pdf>

ただし、上記は米国人対象の検査結果なので、日本人患者には異なる場合もあるかもしれません。少しでもご参考になれば。

すみません、情報がダブっていました

さつき(90)投稿日：2006年9月11日2時08分<月>愛知県/女性

すみません。前の答えをきちんと読んでいなかったようで、負けないでさんからの情報とダブっていましたね。

ネクサバルの米国サイトからの情報ですが、先に示したPDFファイルよりも、以下の方がQ&A形式になっているので分かりやすいと思います。

http://www.nexavar.com/pdf/nexavar_patient_brochure.pdf

みなさん情報ありがとうございます

三川(95)投稿日：2006年9月12日10時29分<火>東京都/男性/58才

みなさんこんにちは。

ネクサバルについて、私自身忙しかったこともあり、調べていなかったのですが、みなさんが色々調べて提供してくださり、とてもありがたいです。

これからもよろしく願いいたします。

<http://toubyounomori.mikawanomori.com>

新薬について

NISHIDA(101)投稿日：2006年9月12日23時32分<火>神奈川/男性

はじめまして。消化管間質腫瘍（GIST）のウェブサイト及び掲示板を運営しております、西田と申します。スーテントとネクサバルはGIST患者にとってもたいへん期待できる薬です。特にスーテントに関しては、おそらくGISTと腎細胞癌の両方で承認申請が出されると思われるので、早期承認を求める活動などは合同で行えればと思っています。宜しく願いいたします。

http://www.geocities.jp/gist_sti571/

腎臓癌5年目

とまと(301)投稿日：2006年11月15日19時07分<水>京都府/女性/54才

59歳丸5年腎臓癌の主人のことでお尋ねしたく思っております。よろしく！

腎臓癌の方々の掲示板を見つけうれしく思っております。

心臓に転移している癌が、新たにできていること。主治医が変わったこともあるのか、インターフェロンガンマーの治療をしてはどうかということらしい。・・・私は、仕事の関係で、説明を聞いてないが、電話で、主治医には、来年認可予定のNexavar (sorafenib,BAy43-9006)を検討しているお話をしました。

骨には転移してないが、右の腎臓の癌が、大きくなっている。（左は5年前に摘出。）

5年前会社の検診で肺に影が見つかり、腎臓癌とわかる。左の腎臓摘出、左の副腎摘出、右にもあったが、インターフェロンで、肺の癌が消えたら取り魔性！ということだったが、結果として、何もしてくれなかった。

自か癌ワクチン・・・効果あまりなし。

インターロイキン・・・苦痛が多く、効果少なく中止。

Nexavar (sorafenib,BAy43-9006)の治験を受けるが、肝臓の数値が悪く治療できず。膀胱に転移の癌摘出。

生姜シップ、サトイモシップ、玄米食、人参ジュースなど、野菜中心に切り替えできる範囲で、やってまいりました。

伊丹仁朗先生を始め、ドクターチャピンさん、大阪成人病センターの先生、京大の治験の先生等のアドバイス、情報を頂ながら、5年が過ぎようとしております。

主人は、やっと自分から、何とかしなければと思いはじめたようです。
今年夏、バイク事故と赤帽の車と衝突を起こしやった検査を再開したとこでした。

インターフェロンガンマーの治療についてどうおもわれますか？

諦めないで前向きに頑張りましょう

三川(318)投稿日：2006年11月20日21時56分<月>東京都/男性/58才

とまとさん初めまして。
レス遅くなってすみませんでした。
ご主人は私と年齢的にも手術の時期も同じ頃で人ごととは思えません。
主治医にはNexavarのことも含めよく話を聞いて、納得いく方向を探してみてください。
主治医も変わったようなので、セカンドオピニオンも検討したらどうでしょうか。
インターフェロンガンマーについてアドバイスできなくてすみません。
肺や心臓への転移で大変でしょうけど絶対に諦めないで頑張ってください。
<http://toubyounomori.mikawanomori.com>

コウ(332)投稿日：2006年11月23日20時24分<木>男性43才

りんたろうさんレスありがとうございます。
とりあえず来年まで・・・何としても頑張りたいです。
認可される薬はスーテント、ネクサバールですか。
私も知識不足でこの掲示板で薬の名前を知った程度なのですが。
私の場合、根治は夢かもしれませんが頑張れば新たな治療法にもめぐり会えると信じていたいと思います。
また、よろしく願いいたします。